



前橋空襲後の光景を写した写真です。群馬県内の空襲被害は、昭和20年（1945）2月10日の太田の中島飛行機製作所及び周辺が爆撃を受けたのをはじめとして、7月から8月にかけて前橋・伊勢崎・高崎が空襲を受けました。特に、8月5日深夜に前橋を襲った空襲は、死者700人余、全市の75%余が焼失、罹災人口87%を数えました。

【右上】手前の道は、現在の本町通りで、北方向を写した写真です。右にある倉庫は、現在の煥乎堂通りです。

【右下】前橋電報電話局屋上から東を写したもので、^{あかしや}速達町通り（現本町）周辺です。一面の焼け野原で、残ったのは蔵造りの建物だけでした。

【左上】桃井小学校周辺です。左遠方の森は、龍海院です。手前の屋根の落ちた建物は当時の前橋電気通信工事局の建物です。この辺りは、緑の多い一帯でした。

〈参考資料〉『群馬県史』通史編7 741～750頁

